

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	にぎわい空間創出事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち											
	実行計画名		18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2007 (H19) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	集客力のあるイベントを主催できる団体				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	イベントを行うには、会場の確保や周知、備品の用意等が必要である。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な団体が本事業を通じて、ニッペパーク岡東中央で数多くのイベントを開催し、多くの来場客で枚方市駅周辺が賑わいを見せている。					
事業概要	市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、日程調整から会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		多くの来場客で枚方市駅周辺が賑わいを見せている。				様々な団体が、ニッペパーク岡東中央で数多くのイベントを開催する。				新規を含めた主催団体の募集及びニッペパーク岡東中央でのイベント開催において、日程調整から会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明	来場者数				イベント開催回数				新規団体数			
		単位		人		単位		回		単位		団体	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	5,800	6,100	6,400	6,700	8	9	10	11	2	2	2
		実績	4,109				3				3		
達成度	71%				38%				150%				
分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催数が想定より少なかったため、来場者数も減少した。				新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催数が想定より少なかった。				新型コロナウイルス感染症の影響の中、市内に活気を取り戻すため企画されたイベントが開催された。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,988	2,004	2,393	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	27	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,988	2,004	2,420	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	1,988	2,004	2,420		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	1,988	2,004	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	例年の開催状況から考えると、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントを自粛する既存の団体も複数あったと思われる。その中でイベントを実施した3団体は全て「にぎわい空間創出事業」新規団体である。そのことから「にぎわい空間創出事業」の認知が拡大していると考えられる。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	コロナ対策をしっかりと講じたうえで、さらなる「賑わい創出」に向け支援会場の拡充など規定を改訂する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	文化観光協会補助事業													
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	観光交流課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち												
	施策目標	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち												
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	2006(H18)年度			年度	~					年度まで				
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称	文化観光協会活動補助金							サンセット	2017(H29)年度		~	2019(R1)年度		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	枚方文化観光協会												
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題	枚方文化観光協会の業務(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では円滑に対応できない業務)を行うための財源確保について、自立経営の促進に取り組んでいるものの、なお経済支援が必要である。												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきもの(①本市の魅力向上 ②交流人口の増加 ③経済活性化)の実現に寄与するため、事業(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では対応が困難な業務)を円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながっている。													
事業概要	枚方文化観光協会の円滑な運営のための補助金を交付する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきものを円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながる。				枚方文化観光協会の経営状況が安定し、活発に事業実施される。				枚方文化観光協会の円滑な運営のための補助金を交付する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	枚方文化観光協会による事業の参加者満足度【算出式:「満足した」と回答した人数/回答者人数×100】				枚方文化観光協会による事業実施件数				補助金交付件数					
	単位 %				単位 件				単位 件					
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	指標数値	75	—	—	—	15	—	—	—	1	—	—	—	
実績	98				12				1					
達成度	131%				80%				0%					
分析	実施イベントについては「また参加したい」という声が多く、満足度が高い。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止となるイベントが多かった。				当補助金は、同協会事務局職員の人件費相当分となっている。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,988	4,009	80	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,988	4,009	80	
	物件費計	13,120	13,371	13,344	13,391	100%
歳出計		15,108	17,380	13,424		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		15,108	17,380	13,344	13,391	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新たな観光ステーション機能の見直しが求められる中、補助金に依らない経営基盤の確立に向け、同協会の自立経営を促していく必要がある。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	令和4年度末をもって活動補助金を廃止する方向で調整を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	文化観光協会負担金交付事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方文化観光協会				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	枚方文化観光協会の業務(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では円滑に対応できない業務)を行うための財源が確保について、さらなる自立経営を促進していくことが求められる。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきもの(①本市の魅力向上 ②交流人口の増加 ③経済活性化)の実現に寄与するため、事業(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では対応が困難な業務)を円滑に実施している。					
事業概要	枚方文化観光協会の業務を実施するため負担金を交付。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきものを円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながる。	枚方文化観光協会の経営状況が安定する。	枚方文化観光協会の円滑な運営のための負担金を交付する。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数	連結会計における自己資本比率 【算出式: 正味財産 / 総資産 × 100】	負担金が受取会費収入全体に占める割合	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	単位 人	単位 %	単位 %
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	101,000 102,000 103,000 104,000	85 86 88 90	42 40 40 40
達成度	101%	94%	-5%	
分析	コロナ禍であったが指標目標は達成した。	自立的な経営に向け取り組む必要がある。	受取会費収入全体に占める本市会費の割合が高止まりしている。	

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,193	1,203	80	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,193	1,203	80	
	物件費計	3,300	3,000	3,000	3,000	100%
歳出計		4,493	4,203	3,080		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		4,493	4,203	3,000	3,000	

5. 総括的分析

総括的分析	本市からの会費が受取会費収入全体に占める割合が高止まりしている。
-------	----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和4年度末をもって活動補助金を廃止する方向で調整を行うとともに、負担金についても見直しを検討する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	友好・交流都市物産展開催事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち										
	実行計画名		18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1984(S59)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない市民。				
	サブターゲット	友好・交流都市物産展の開催を知らない市内外の方。				
	ターゲットが抱える課題	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない。				
	ターゲットが抱える課題	友好・交流都市物産展の開催を知らない。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	友好・交流都市物産展開催が、市内外からの多数の来場者でにぎわう。また、本市の国内友好都市及び市民交流都市の知識を持つ人が増加し、市民間交流のきっかけとなる。					
事業概要	都市交流事業の一環として、毎年11月に友好都市(四万十市、別海町、名護市)や市民交流都市(伊達市、天川村、波佐見町)・旧友好都市で現在も地域間交流を継続している高松市(旧塩江町)及び枚方市の名産品を集めた物産展を開催する。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民に本市の国内友好都市及び市民交流都市の知識を持つ人が増加する。				友好・交流都市物産展開催の幅広い情報発信により、市内外からの多数の来場者でにぎわう。				友好・交流都市物産展を開催する。			
指標設定	指標説明	本市の友好・交流都市の認知度(スマホアンケートによる)				友好・交流都市物産展の来場者数				広報ひらかた、プレスリリース、市HP及びSNS、チラシ配布による情報発信の数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	40	42	44	46	7,350	7,733	8,116	8,500	5	10	15	20
	実績	0				0				1			
	達成度	0%				0%				20%			
分析	イベント実施を中止したため、アンケートも実施しなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止した。				新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止した。代替策として物産展で取り扱う商品の友好都市カレンダーを制作し配布した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,578	3,608	1,196	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	3,578	3,608	1,196	
	物件費計	210	279	0	0	—
	歳出計	3,788	3,887	1,196		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		3,788	3,887	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止したが、今後は、感染対策を万全にした上で開催することができるかを検討する。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度についても新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、イベント開催可否、イベント実施内容を精査していく必要がある。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方宿地区まちづくり協議会支援助成事業														
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち												
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち												
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用												
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業					
事業期間	2002(H14)年度				年度	~		年度まで							
根拠法令等	決裁														
関係補助金名称	まちづくり協議会補助金							サンセット	2017(H29)年度		~			2019(R1)年度	
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		枚方宿地区まちづくり協議会												
	サブターゲット		枚方宿地区の賑わいづくりや景観保全等のまちづくりに協力できる枚方宿地区内の地域住民												
	ターゲットが抱える課題		歴史を生かした町並みの景観形成の促進と地域の活性に繋がる賑わいづくりに向けた活動にあたり、行政による支援を必要としている												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	歴史的な町並みが保たれているとともに、平日も観光客で賑わいを見せている。また、市民・事業者のまちづくりにより、活気あふれた観光地の一つとなっている状態。														
事業概要	歴史的な景観の保全整備には、市民の協力が不可欠であるとともに、地域の活性化にとっても、市との連携によるまちづくり活動が必要である。このため、地元自治会や商店会、関係団体により組織されたまちづくり協議会の活動を支援する。														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
	平日も観光客で賑わいを見せており、市民・事業者のまちづくりにより、活気あふれた観光地の一つとなる。				まちづくり協議会がイベント等を実施する。				まちづくり協議会補助金の交付により、枚方宿地区まちづくり協議会の活動を支援する。						
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
	指標説明		来場者数		イベント件数		会議回数								
			単位	人	単位	件	単位	回							
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標(見込み)	80,000	80,000	80,000	80,000	12	12	12	12	30	30	30	30	
		実績	45,000				3				49				
達成度		56%				25%				163%					
分析		イベント開催中止の影響を受け、来場者数が減少した。				緊急事態宣言の発出等により、開催中止の判断をとることが多かった。				市がオブザーバーで参加し、会議を行っている。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,156	5,612	3,988		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	68	63	27		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,224	5,675	4,015		
	物件費計	797	1,503	786	1,050	75%	
歳出計		8,021	7,178	4,801			
歳入	国庫支出金	166	173	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	800	0	0		
	歳入計	166	973	0	0		
一般財源		7,855	6,205	786	1,050		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発出等により、イベントについては開催中止の判断をとることが多かった。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	感染状況の動向を踏まえ、開催可否の判断を行う。実施の際は、令和2年度に策定した感染防止対策を万全に講じた上で、実施することとする。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	歴史的景観保全事業(観光交流課)												
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち											
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	2002(H14)年度			年度	~	年度まで							
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称												サンセット	~
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	枚方宿を訪れた市民・市外の人											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	案内看板等が破損している場合、枚方宿に訪れた際の観光情報が分かりにくいいため、十分に楽しむことができない。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方宿歴史的景観保全地区修景補助事業(補)												
事業概要	歴史文化を残す本市の枚方宿歴史的景観保全地区において、歴史的案内板・石碑等を設置・寄贈を受け維持管理する。												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
						歴史的案内板・石碑等が適正に維持管理されている。				歴史的案内板・石碑等の点検を実施する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				点検回数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 回			
		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	12	12	12	12
実績					0				3				
達成度					100%				25%				
分析					枚方宿地区にある歴史的案内板・石碑等の修繕や補修工事はなかった。指標の再考が必要。				枚方宿地区で開催されるイベントに合わせ、点検しているため、新型コロナウイルスの感染症の影響によりイベントが中止になったことから点検回数が減少した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,281	1,603	1,595	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	6,281	1,603	1,595	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	6,281	1,603	1,595		
歳入	国庫支出金	3,020	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	3,020	0	0	0	
一般財源		3,261	1,603	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	歴史的案内板・石碑等について、点検回数は減少したが適切な管理に努めた。
-------	-------------------------------------

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	枚方宿地区の歴史的案内板・石碑等に関わらず、枚方宿地区以外の案内板等についても、適正な維持管理が必要であることから、他の案内板等と合わせた維持管理を行うため、観光交流課運営事務と統合する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	観光まちづくり推進事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3		R4					
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち											
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2018(H30)年度		年度	~	R5年度(2023)年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	本市を観光目的で訪問したことがない人				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	本市の観光に関する情報を得られていない				
	ターゲットが抱える課題	本市の観光に魅力を感じていない(観光コンテンツ不足)。観光できるまちという認識がない。				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	収集した観光に関する調査結果をもとに本市魅力につながる様々な事業を実施して情報発信することにより、本市魅力が向上し、観光目的に本市へ多数の訪問者がある。					
事業概要	観光マーケティングの観点から、本市の魅力向上及び様々な情報発信を行う 1. 観光基礎関連データの収集と効果測定 2. 観光ウェブサイトの構築と継続的な情報発信 3. 観光コンテンツの開発					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				収集した観光に関する調査結果をもとに本市魅力につながる様々な事業を実施して情報発信する。				観光振興に向けて観光におけるニーズを定量的に把握するため、基礎データの収集及び分析、観光における情報発信を行う。			
指標設定	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				ウェブサイト(市HP・文化観光協会HP)の閲覧数及びSNS(市SNS・文化観光協会SNS・ひらいるSNS)フォロー数				ウェブサイト(市HP・文化観光協会HP)及びSNS(市SNS・文化観光協会SNS・ひらいるSNS)による情報発信の数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	1,000	1,200	1,300	1,400	100	100	100	100
	実績	101,910				28,603				257			
	達成度	101%				2860%				257%			
分析	令和2年度統計書(令和元年度時点の数値)を引用しているためコロナの影響前と考えられる。				指標説明及び指標数値、目標(見込み)の再考が必要。				指標説明及び指標数値、目標(見込み)の再考が必要。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,529	8,418	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	11,529	8,418	3,190		
	物件費計	7,421	3,054	4,066	4,400	92%	
	歳出計	18,950	11,472	7,256			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		18,950	11,472	4,066	4,400		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	市、観光協会及び枚方T-SITEの3者で組織する観光フリーペーパー制作実行委員会において、冊子「ひらいろ」の年4回の発行を目指したがコロナの影響により1回は中止し、代替としてWEBサイトを開始した。WEBサイト広告の増加、発行回数の縮減などにより、負担金の支出金額を見直し自立自走に近づけていく必要がある。また、アフターコロナを見据え、広域連携や地元の民間団体などの連携による観光コンテンツの企画について、引き続き取り組む必要がある。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	「ひらいろ」については発行回数を2回とし、WEBサイトの広告を増やすことで自立自走に近づけていく。また、公民連携により、市の事業費負担なく観光コンテンツを企画、実施していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	「七夕」発信事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2018 (H30) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを知らない市民・市外の人				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	「七夕伝説ゆかりのまち」であることを知らない。知る機会が少ない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを市民が認識しており、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている。また、「七夕」をキーワードに地域の団体や事業者によるイベントや事業が広く展開され、賑わいを見せている状態。					
事業概要	「七夕」に関するイベント開催や情報発信等を通年展開する。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕ジャンボ笹飾り)を実施する。			
指標設定	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度				イベント参加者数				イベント件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	50	50	60	60	9,000	9,000	9,000	9,000	1	1	1	1
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
	分析	イベント実施を見送ったためアンケートも実施しなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。			
ロジックモデル②		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕出前講座)を実施する。			
指標設定②	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度				イベント参加者数				イベント件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	50	50	60	60	300	300	300	300	10	10	10	10
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
	分析	イベント実施を見送ったためアンケートも実施しなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕婚活イベント)を実施する。			
指標設定③	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度				イベント参加者数				イベント件数			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	50	50	60	60	40	40	40	40	1	1	1	1
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
分析	イベント実施を見送ったためアンケートも実施しなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				
ロジックモデル④		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(冬の「七夕」イベント)を実施する。			
指標設定④	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度				イベント参加者数				イベント件数			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	50	50	60	60	3,000	3,000	3,000	3,000	1	1	1	1
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
分析	イベント実施を見送ったためアンケートも実施しなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	6,414	3,988	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	27	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	6,414	4,015	
	物件費計	—	0	0	250	—
	歳出計	—	6,414	4,015		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	6,414	0	250	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベントが全て中止となった。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度は「ジャンボ笹飾り」と「婚活」の2つのイベントはコロナ対策を講じて実施予定。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	淀川舟運推進事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち											
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2000 (H12) 年度				年度	～			年度まで					
根拠法令等	淀川舟運整備推進協議会規約													
関係補助金名称								サンセット	～					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		本市を訪れる観光客											
	サブターゲット		淀川舟運及び枚方船着場について知らない市民											
	ターゲットが抱える課題		本市の観光コンテンツが少ない											
	ターゲットが抱える課題		淀川舟運及び枚方船着場について知らない。											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が淀川舟運について知識を深め誇りを持つとともに、舟運イベントが、より多くの観光客(インバウンド含む)が訪れる観光コンテンツとなる。													
事業概要	淀川舟運整備推進協議会の幹事会、総会、勉強会を年に各1回開催する。 淀川舟運整備推進協議会として、国土交通省近畿地方整備局へ要望活動を行う。 舟運イベントについては、舟運事業者が行う春・秋の運航や、毎月第2日曜日に開催の「枚方宿くらわんか五六市」と同日に行われて定期運航のPR活動を支援している。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市民が淀川舟運について認識し誇りを持つ。				舟運事業者が運航する舟運イベントに多数の人が参加する。				定期運航のPR活動を支援する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者のうち「価格に見合った価値がある」と答えた割合				舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者数				広報ひらかた、プレスリリース、市HP及びSNSによる情報発信の数					
	単位 %				単位 人				単位 回					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		91	92	93	94	2,600	2,780	2,970	3,150	11	15	20	25
実績		93				541				5				
達成度		102%				21%				45%				
分析		「価格に見合っている」77.7%、「もう少し料金を上げてよい」15.3%の合算。参加者には好評だったことがうかがえる。				新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が大幅に減少した。				新型コロナウイルス感染症の影響により目標が達成できなかった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,361	6,414	2,791	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	6,361	6,414	2,791	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	6,361	6,414	2,791		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	6,361	6,414	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	舟運イベントについては新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減ったものの、実際に参加した方の満足度は高い。コロナの状況を見ながら舟運の活性化に向けて、舟運事業者を引き続き広報支援していく必要がある。淀川舟運整備推進協議会として沿川市町と情報交換を行うとともに、国及び近畿地方整備局に要望活動を行い、大堰閘門整備へつなぐことができた。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	舟運事業者を引き続き広報支援していく。淀川舟運整備推進協議会については2025大阪関西万博を見据えた舟運の活性化に向けて沿川市町と連携して取り組んでいく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	海外友好都市交流推進事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	1987(S62)年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称									サンセット	~				
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		海外友好都市と交流する市民											
	サブターゲット		海外友好都市3都市の行政組織および市民											
	ターゲットが抱える課題		海外友好都市との信頼関係を継続させていく必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	海外友好都市との信頼関係を安定して築き、枚方市の魅力を他国に発信できている。異文化交流を通して、新たな発見を得るとともに、歴史を保存継承できている。													
事業概要	海外友好都市(オーストラリア連邦クィーンズランド州ローガン市・中華人民共和国上海市長寧区・大韓民国全羅南道靈岩郡)との交流事業を行う。また、市内(市内)の国際化に向けた取組みを進める。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市民レベルの友好交流を促進することで、相互理解と信頼が深まり、都市間の友好の絆が強まる。				海外友好都市についての市民の認知度が向上する。				海外友好都市との交流事業を行う。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市民対象事業参加者の満足度 事業報告会で肯定的評価を行った参加者率 の事業平均				市民対象の友好都市関連事業の参加人数 ・ローガン市中学生友好交流参加者 ・長寧区市民訪問団参加者 ※隔年開催事業				海外友好都市との交流事業の実施回数					
	単位 %				単位 人				単位 回					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80	80	80	80	20	16	20	16	4	4	2	4
	実績		0				0				0			
達成度 0%				0%				0%						
分析 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。						

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,566	2,004	1,994	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	5,566	2,004	1,994	
	物件費計	637	270	174	192	91%
	歳出計	6,203	2,274	2,168		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		6,203	2,274	174	192	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を実施することができなかった。
-------	-------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、海外友好都市との友好関係を継続できるよう努めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	国内友好都市等交流促進事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の国内友好都市及び市民交流都について知らない市民			
	サブターゲット	国内友好都市及び市民交流都市の市民等			
	ターゲットが抱える課題	本市の国内友好都市及び市民交流都市の文化等に対する理解が乏しい。			
	ターゲットが抱える課題	本市の文化等に対する理解が乏しい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	異なる文化・環境を有する自治体との交流により、本市魅力の再発見及び課題への気づきにつなげる。本市の魅力他自治体に発信し、本市を訪れるきっかけを作る。				
事業概要	枚方市・別海町少年少女ふれあいの翼により、隔年で相互に中学生が訪問し交流。別海町が実施する酪農青年と独身女性との交流事業「菊と緑の会」への協力。「別海町産業祭」への出店。名護市で開催される「やんばる産業まつり」への出店や「名護さくらまつり」への出席。その他、国内友好都市との各種周年事業の開催など。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		異なる文化・環境を有する自治体との交流により、本市魅力の再発見及び課題の再認識につながる。				国内友好都市等交流促進事業に多数の人が参加する。				国内友好都市等交流促進事業を実施する。			
指標設定	指標説明	交流事業に「満足した」と答えた参加者数の割合(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)				交流事業の参加者数(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)				交流事業の数(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	80	80	15	15	15	15	2	3	3	3
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となったため計ることができなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。				新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,771	4,409	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,771	4,409	3,190		
	物件費計	1,205	1,172	160	1,202	13%	
	歳出計	5,976	5,581	3,350			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		5,976	5,581	160	1,202		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	国内友好都市と市民交流都市との市民主体の交流事業を検討し、市民への認知度の向上につなげていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	市の花「桜」発信事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち											
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市の花が「桜」であることを知らない市民				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	いつどんな経緯で市の花「桜」となったか知らない。市の花が「桜」である事を知る機会がない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市の花「桜」の認知度が上がり、そのことが市民の郷土愛の醸成に繋がっていると、市内の桜スポットが市民で賑わっている状態。					
事業概要	本市の花「桜」を市内外へ効果的・効率的に発信するため、市の花「桜」発信事業を実施。市内の桜を撮影し、写真共有アプリ等で投稿してもらう「枚方市桜フォトキャンペーン」を実施するとともに、桜に関するイベントや市内にある桜の名所14か所の開花情報を市ホームページなどで発信する。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市の花「桜」の認知度が上がり、郷土愛の醸成に繋がる。				市の花「桜」のイベントが開催される。				市の花「桜」発信事業を実施する。			
指標設定	指標説明	市の花「桜」の認知度				Instagram等のSNSへの投稿数				イベント件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	60	60	60	60	200	300	400	500	1	1	1	1
	実績	0				396				0			
達成度	0%				198%				0%				
分析	インスタグラム講習会でアンケートにより調査予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となったため認知度を計ることができなかった。				インスタグラム投稿数が見込みを上回って達成できた。				インスタグラム講習会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.24
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,783	2,004	1,914		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	27		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,783	2,004	1,941		
	物件費計	170	241	26	300	9%	
歳出計		2,953	2,245	1,967			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		2,953	2,245	26	300		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	桜フォトキャンペーンでのInstagram投稿数は目標達成できた。市の花桜の認知度については、予定していたInstagram講習会でアンケートにより調査予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となったため認知度を計ることができなかった。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	桜フォトキャンペーンは引き続き投稿数増加を目指し実施し、市の花桜啓発クリアファイルを作成し、市内小学生や各種イベントで配布し啓発する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民サービスセンター管理運営事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	1994(H6)年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	市民ふれあいセンター管理規則						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	市民サービスセンターの利用者					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	維持管理が適切になされないと、市民サービスセンターを快適に利用することが出来ない。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民サービスセンターが、適切な維持管理により、快適に利用することが出来る状態。						
事業概要	市民サービスセンターは、枚方市駅高架化に伴う公共スペースとして、京阪流通システムズより無償で提供を受けているが、施設の維持管理経費として、共益費・設備保安委託料・電気料金・水道料金を京阪流通システムズに支出している。この他、空調機器の修繕などを実施。 なお、清掃については平成30年度から入札による委託で行っている。 対象面積:630.76㎡						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						市民サービスセンターが適切に維持管理される。				設備点検を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				設備点検の件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					70	70	70	70	11	11	11	11
	実績					0				11			
	達成度					100%				100%			
分析					修繕に係る予算執行はなく、適切に維持管理されている。				事業者により適切な設備点検が実施された。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,193	2,806	1,196	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,193	2,806	1,196	
	物件費計	14,719	14,879	14,762	16,181	91%
	歳出計	15,912	17,685	15,958		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	15,912	17,685	14,762	16,181	

5. 総括的分析

総括的分析	予算執行の必要がある修繕等はなく、適切な施設維持管理ができた。
-------	---------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、施設の適切な維持管理に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市駅観光拠点事業												
測定年度	2020 (R2) 年度			部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	ひらかた観光ステーションを知らない観光客				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	ひらかた観光ステーションを知らないため、必要な観光情報を得られない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	観光で本市を訪問した市外 (国外含む) の方が、ひらかた観光ステーションに来場し、必要な観光情報を得て本市の観光を楽しみ消費活動を行うことにより、本市の経済活性化に寄与する。					
事業概要	<p>ひらかた観光ステーションを観光拠点として位置づけ、市民や観光客へ幅広いサービスを提供する。</p> <p>(1) 市政や文化情報、観光案内業務 (市内の観光資源に関する情報)、その他多様な情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォメーションにて、電話・窓口対応・施設全体の案内</li> <li>・観光パンフレット等による紹介案内</li> <li>・所内と入口に設置のディスプレイモニターによる情報発信</li> </ul> <p>(2) 市及び友好都市・市民交流都市の紹介、物産販売等</p> <p>(3) その他必要な事項</p>					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	観光で本市を訪問した市外 (国外含む) の方が、本市の観光を楽しみ消費活動を行うことにより、本市の経済活性化に寄与する。	観光で本市を訪問した市外 (国外含む) の方が、ひらかた観光ステーションに来場し、必要な観光情報を得る。	ひらかた観光ステーションを運営する。										
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	定期利用者数を除いた市内主要駅 (樟葉、枚方市、枚方公園、長尾) の1日当たり乗降客数	ひらかた観光ステーション来場者数	一年度当たりの開業日数										
		単位 人	単位 人	単位 日									
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標									
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	52,000	53,000	54,000	55,000	358	358	358
実績	101,910				24,528				228				
達成度	101%				47%				64%				
分析	令和2年度統計書 (令和元年度時点の数値) を引用しているためコロナの影響前と考えられる。				新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えられる。				新型コロナウイルス感染症の影響により休所日数が例年より大幅に増加した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,113	1,603	1,595	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,113	1,603	1,595	
	物件費計	8,282	8,619	8,979	8,980	100%
	歳出計	9,395	10,222	10,574		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	9,395	10,222	8,979	8,980	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定通りであったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりひらかた観光ステーションの開業日数・来場者数ともに大幅に減少した。今後、アフターコロナを見据え、来場促進やより効果的な情報発信について検討する必要がある。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	効果的な本市の魅力発信が行える場として、業務委託仕様書の見直し等の検討を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方フェスティバル協議会支援事業(補)												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	1976(S51)年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称	枚方フェスティバル協議会主催事業等実施補助金			サンセット	2017(H29)年度	~	2019(R1)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	市内の様々なイベントに参加したい人や参加したことのない人					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	市内外の方が興味のある市内のイベントが少ない。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	フェスティバル協議会が支援する枚方まつりや各種イベント等を通じて、枚方の魅力が広く発信され、市内外から多くの方が訪れ賑わいを見せている。また、こうしたイベントが市民の郷土愛の醸成に繋がっている状態。						
事業概要	枚方まつりの実施・各種イベントを支援する枚方フェスティバル協議会に補助金を交付し、各イベントを支援する。						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		市民の郷土愛の醸成に繋がる。				枚方まつりや各種イベント等が開催され、市内外から多くの方が訪れる。				枚方フェスティバル協議会に参画している団体が主催するイベントを支援する。			
指標説明		枚方に愛着を抱いている市民の割合				来場者数				イベント件数			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	90	90	90	90	140,000	140,000	140,000	140,000	11	11	11	11
	実績	0				8,500				4			
	達成度	0%				6%				36%			
分析		イベント中止によりアンケート未実施のため、実績数値なし。				「枚方まつり」など集客力のあるイベントが中止となったことが減少の原因である。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベントが多かった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,156	6,414	2,393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,156	6,414	2,393		
	物件費計	5,500	5,500	1,458	1,903	77%	
	歳出計	12,656	11,914	3,851			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	12,656	11,914	1,458	1,903		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、中止されたイベントが多かった。実施できたイベントに対しては、許認可手続きなどの支援を行った。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	構成団体のさらなる自由度を高め、より主体的な活動につなげるため、協議を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	市の花「菊」発信事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	枚方宿街道菊花祭補助金			サンセット	2017 (H29) 年度 ~ 2019 (R1) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ひらかた菊フェスティバルを知らない市民。枚方市の花が「菊」であることを知らない市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	ひらかた菊フェスティバルや市の花が「菊」である事を知る機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「ひらかた菊フェスティバル」に市内外から多くの来場客が来る。また、市民が市の花が「菊」であることを認識しており、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている状態。				
事業概要	「ひらかた菊花展」への参画及び「枚方宿街道菊花祭」、「市民菊人形展」への支援、「ひらかた菊フェスティバル関連イベント」の企画団体募集を行うとともに、市の花「菊」の総合的な発信を図るため、これらのイベントを総称した「ひらかた菊フェスティバル」として開催する。また、同フェスティバルに「ひらかたパーク」が実施する菊人形の展示等も合わせ、チラシ・ポスターを作成するとともに、広報ひらかた・市ホームページ、SNS等でイベント情報を掲載するなど、各イベントの発信を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市の花「菊」の認知度が上がり、郷土愛の醸成に繋がる。				「菊フェスティバル」が開催される。				市の花「菊」発信事業を実施する。			
指標説明		市の花「菊」の認知度				来場者を計測				イベント件数			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	45,000	45,000	45,000	45,000	1	1	1	1
	実績	0				25,000				1			
達成度		0%				56%				100%			
分析		感染防止対策へ注力しており、調査を実施することができなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各イベントにおいて、事業の一部を中止した影響を受けたものと思われる。				「ひらかた菊花展」・「枚方宿街道菊花祭」・「市民菊人形展」のイベントを相互に連携させ総合的に発信するため、同時期にイベントを開催した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,385	2,405	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,385	2,405	3,190		
	物件費計	222	267	238	280	85%	
	歳出計	2,607	2,672	3,428			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		2,607	2,672	238	280		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部事業の縮小があったものの、各主催者がイベントの実施を決めたため、チラシ・ポスターを作成するとともに広報ひらかたやホームページ等で各イベントの発信を行った。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いつつ、各種イベントを開催するとともに総合的な発信を図る。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	菊人形支援事業(補)														
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち												
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち												
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用												
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性			選択的事业			区分		一般事務事業			
事業期間	2006(H18)年度			年度		~		年度まで							
根拠法令等	決裁														
関係補助金名称	菊人形事業実施補助金							サンセット		2017(H29)年度		~ 2019(R1)年度			
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		菊人形の文化を知らない市民または市外の人												
	サブターゲット														
	ターゲットが抱える課題		菊人形の文化を知る機会がない。菊人形を見たことがない。展示時期や場所を知らない。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方には菊人形の文化や歴史があることを広く認識され、また、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている。また、多くの来場客で賑わっている状態。														
事業概要	菊人形に関する文化の普及を図るため、菊人形を制作し、発信するひらかた市民菊人形の会への活動補助を行う。														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
	枚方には菊人形の文化や歴史があることを広く認識される。				「市民菊人形展」が開催される。				ひらかた市民菊人形の会への活動補助を行う。						
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
	菊人形文化の認知度【産出式:「知っている」と回答した人数/スマホアンケート及びイベント会場でのアンケートに回答した人数×100】				来場者を計測				展示回数						
	指標種類		単位		%		単位		人		単位		回		
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標(見込み)	60	60	60	60	3,000	3,000	3,000	3,000	4	4	4	4	
	実績		0				17,000				7				
達成度				0%				567%				175%			
分析				新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント会場でのアンケート調査が実施できなかった。				同会場であるひらかた菊花展と枚方宿街道菊花祭の合計来場者数を計測。				展示期間中に複数の場所に展示したことにより、目標を上回った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,385	2,405	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,385	2,405	3,190		
	物件費計	1,384	1,055	1,159	2,097	55%	
	歳出計	3,769	3,460	4,349			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		3,769	3,460	1,159	2,097		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	10月から11月にかけて開催される「ひらかた菊フェスティバル」での「ひらかた市民菊人形展」をはじめ、年間を通じて衣装人形等を枚方市駅や市関連施設などで展示することにより、菊人形の文化や歴史の発信に寄与した。一方で会員の高齢化などの課題が顕在化しつつある。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	菊人形に関する文化の振興を図るため、引き続き、ひらかた菊人形の会に対して支援を行うとともに、持続できる方策について検討する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	「マルシェ・ひらかた」開催事業																
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課						
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4									
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち														
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち														
	実行計画名																
1. 事務事業の概要																	
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業							
事業期間	2010(H22)年度				年度	～			年度まで								
根拠法令等	決裁																
関係補助金名称									サンセット	～							
関係附属機関名称																	
事業対象	メインターゲット		市内の農業・商工業の事業者														
	サブターゲット		市民・市外の人														
	ターゲットが抱える課題		事業者間で連携するための情報・きっかけが少ない。														
	ターゲットが抱える課題		市内産業の魅力を知らない														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農業・商工業等各分野間の連携を通じて、枚方特産品の普及やコラボレーション事業が展開されている。それにより市内産業を市内外に発信することができ、魅力が認知されている状態。																
事業概要	市内の商業、工業、農業、観光の団体と連携したまちなか市「マルシェ・ひらかた」を枚方市駅周辺で開催する。また、参加事業者の異業種間交流による新たな枚方産品の創出の可能性を探る。事業の実施主体である「マルシェ・ひらかた実行委員会」(構成団体/枚方市商業連盟、枚方市農業研究会、北河内農業協同組合、北大阪商工会議所、枚方文化観光協会、枚方市)のもとで、市内の農業・商工業等の各関係者等から構成されるチームが中心となり、各分野間の連携を通じて枚方特産品の開発事業やコラボレーション事業を展開する。そこで展開されたものを展示会やイベント等で周知・プロモーションを行うことで、市内産業の魅力を広く市内外へ発信するとともに、枚方特産品により本市の産業の活性化を図る。 負担金として、北河内農業協同組合、北大阪商工会議所、枚方市が支出。																
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
	産業間の交流促進により、それぞれの分野(商業、工業、農業、観光)で連携した事業や枚方産品の普及が展開される。				イベントを通じて、市内産業の魅力を来場者に発信できる。				「マルシェ・ひらかた」を開催する。								
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
	指標説明		連携件数		イベント参加者		イベント件数										
			単位	件	単位	人	単位	件									
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標										
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)	3	3	3	3	6,000	6,000	6,000	6,000	1	1	1	1			
	実績		0				0				0						
達成度		0%				0%				0%							
分析		枚方産品の商品開発の調整を図ったが実現には至らなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				コロナ禍もありイベントとしての「マルシェ・ひらかた」開催を見送るとともに、本来の目的である産業間連携が図れるような事業展開を進めていくことを確認した。							

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,156	6,414	3,988	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	203	188	27	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	7,359	6,602	4,015	
	物件費計	1,115	1,026	0	0	—
	歳出計	8,474	7,628	4,015		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	8,474	7,628	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	イベント開催ありきではなく、事業趣旨である産業間連携が実現できるよう事業を展開していく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	米粉や農産物を使った商品開発、企業間連携などを企画・提案していく。新たに開発された商品については、枚方まつりや食育カーニバルなど既存イベントに出展するなどPRを図る。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	観光開発・発信事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2017(H29)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称									サンセット	~				
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		天の川ツーリズム											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		本市における魅力的な名物が少なく、開発するにあたっての体制が確立されていない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	名物や観光資源の開発により魅力発信につながり、枚方・交野両市の観光事業が活性化している。													
事業概要	本市には、枚方八景をはじめ様々な地域資源があり、中には天野川など交野市と共通の資源が存在する。平成27年度には「天の川ツーリズム」として、交野市や北大阪商工会議所、民間事業者などと連携して両市をPRする取り組みを行ってきた。同時に「ふるさと名物応援宣言」を共同で行うなどの取り組みを行った。さらに両市の魅力の発信だけでなく、両市の地域資源を活用し、両市の名物となる新商品の開発にも取り組む。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	名物や観光資源の開発により魅力発信につながり、枚方・交野両市の観光事業が活性化する。				両市の地域資源を活用し、両市の名物となる新商品が開発される。				負担金を交付する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	枚方市独自、あるいは両市の名物や観光資源の認知度(スマホアンケートを予定)				新商品開発件数				負担金交付件数					
	単位				単位				単位					
	%				件				件					
	指標種類				指標種類				指標種類					
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	50	50	50	50	1	1	1	1	1	1	1	1		
実績	0				1				1					
達成度	0%				100%				100%					
分析	ガイドマップの発行が3月末であり、効果検証は次年度となるため、令和2年度中には数値が確定しなかった。				名物の開発に至らなかったが、天の川を中心とする観光ガイドマップ「カタカタおさんぽ magazine」を新たに発行した。				負担金を全額支出した。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,976	1,603	1,595	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	3,976	1,603	1,595	
	物件費計	1,400	1,400	0	0	—
	歳出計	5,376	3,003	1,595		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	5,376	3,003	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	情報誌の効果を検証していく必要がある。枚方・交野の両市の名物、観光資源となる新商品の開発が進展しておらず、負担金、人員費の支出が観光事業の活性化に結びついていないか事業内容及び負担金の支出の仕方を見直していく必要がある。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	負担金支出の方法を見直すとともに、刊行紙「カタカタおさんぽmagazine」の効果を検証しつつ、第2弾の発行に取り組む。観光名物となる新商品開発についても引き続き検討を進める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	観光交流課運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務							
事業期間	不明			年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称							サンセット	~					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		課職員										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。												
事業概要	課の運営業務(部取りまとめなど総務担当課事務、都市競艇関係事務、国際化施策関係事務など)												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
	分析												

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.09
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.51
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	34,984	22,848	8,693	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	68	140	971	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	35,052	22,988	9,664	
	物件費計	750	761	420	1,408	30%
	歳出計	35,802	23,749	10,084		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		35,802	23,749	420	1,408	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	課の一般事務、総務担当課としての事務のほか、都市競艇関係事務、国際化施策の推進、枚方文化国際財団解散に伴う事業引継ぎ等を実施した。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	国際化推進事務については、財団解散に伴い令和3年度より新規に立ち上げた事務事業「国際化推進事業」に統合する。